

報道関係者 各位

2026.7.22
< 配信枚数 2 枚 >

■開催案内■

立命館土曜講座 2026 年 8 月テーマ 平和外交の多様なかたち

開催日程 : 2026 年 8 月 22 日 (土)・29 日 (土) 10 時 00 分～11 時 30 分

開催方法 : ハイブリッド講座 (末川記念会館 SK101・Zoom ウェビナー)

2026 年 8 月の立命館土曜講座は、立命館大学国際平和ミュージアムの企画として、ハイブリッド形式(末川記念会館 SK101・Zoom ウェビナー)で開講いたします。

どなたでも無料で受講いただけますので、ご関心のある方のご参加をお待ちしております。

記

■立命館土曜講座 2026 年 8 月テーマ「平和外交の多様なかたち」

(1) 市民のイニシアティブで外交を実践する

日時 : 2026 年 8 月 22 日 (土) 10 時 00 分～11 時 30 分

講師 : 新外交イニシアティブ(ND) 事務局長 巖谷 陽次郎

(2) 平和外交としての留学一東アジア学生交流が平和をつくる

日時 : 2026 年 8 月 29 日 (土) 10 時 00 分～11 時 30 分

講師 : 立命館大学文学部 教授 庵途 由香

開催方法 : ハイブリッド講座 (末川記念会館 SK101・Zoom ウェビナー)

内 容 : 別紙参照

聴 講 料 : 無料

定 員 : 末川記念会館 SK101:180 人、Zoom ウェビナー:400 人

※実施前日 12 時 00 分までに要事前申込。定員に達し次第、受付を終了。

申込方法 : 立命館土曜講座の WEB サイトよりお申し込みください。

<https://www.ritsumeai.ac.jp/doyo/>

主 催 : 立命館大学衣笠総合研究機構

そ の 他 : 文字通訳を配信しています。

以上

本リリースの配布先: 京都大学記者クラブ

●内容についてのお問い合わせ先

立命館大学衣笠総合研究機構 担当: 尾崎・堀

TEL.075-465-8224

別 紙

■立命館土曜講座 2026 年 8 月テーマ「平和外交の多様なかたち」

(1) 市民のイニシアティブで外交を実践する

日時：2026 年 8 月 22 日(土) 10 時 00 分～11 時 30 分

講師：新外交イニシアティブ(ND) 事務局長 巖谷 陽次郎

講師による内容紹介：

「力による平和」を標榜するトランプ政権の下で、アメリカが国際的なリスクとなり、信頼が揺らいでいます。各国がアメリカとの距離感を調整する中、日本は対米追従を継続し、防衛力の増強など「抑止力」の強化を進めており、特に東アジアで「台湾有事」が危険視されている中、高市政権は中国政府を挑発するような言動をし、軍事的衝突の危険性を高めています。

日本では、戦争を回避するためには抑止力を高めることのみが重要かのように語られ、実際に外交努力による緊張緩和はなおざりにされています。しかし安全保障には外交を欠かすことはできません。例えば日本と同じように地政学的に米中の狭間にある ASEAN 各国の安全保障戦略を見渡すと、いかに米中のバランスを取り、リスクヘッジを重視しているかがわかります。

今回、日本が「平和国家」からどのように変質してきているかを振り返り、「抑止力」強化の内容や限界、危険性を検証します。その上で、市民からは距離があるとされる「外交」が具体的にどのようなものであるかを確認し、NGO である「新外交イニシアティブ(ND)」がこれまで実践してきた外交の実例を紹介します。

(2) 平和外交としての留学—東アジア学生交流が平和をつくる

日時：2026 年 8 月 29 日(土) 10 時 00 分～11 時 30 分

講師：立命館大学文学部 教授 庵途 由香

講師による内容紹介：

携帯電話とパソコンの機能を備えたスマートフォンの普及以降、世界中で普通の人々による情報発信が一般化し、自動翻訳を使えばだれでも、自分だけの空間で世界中の情報に接することができるようになりました。近年では韓流や華流も日本社会に定着して、中高生を含む若い人々も、東アジアの国々の大衆文化に日常的に接しています。韓国語や中国語を学ぶ若者が急増し、観光で現地訪問する学生も一般化している一方、東アジア諸国への留学も少しずつ増えつつあります。

この回では、東アジアに関心のあった大学生たちが、隣国である韓国や中国への留学でどのように変化していくのか、留学を通じて相互理解がどのように進んだのかについて、ご紹介します。このような個人の国際経験が、今後の日本にどのような意味を持つのかも、併せて一緒に考えてみたいと思います。

■立命館土曜講座 <WEB サイト> <https://www.ritsumeai.ac.jp/doyo/>

1946 年から続く、市民向けの無料公開講座。故・末川博名誉総長の「学問や科学は国民大衆の利益や人権を守るためにある。学問を通して人間をつくるのが大学であり、大衆とともに歩く、大衆とともに考える、大衆とともに学ぶことが重要」との思いのもとに、大学の講義を市民に広く開放し、大学と地域社会との結びつきを強めることを目指しています。